purpose 25

2020 年度 Nike, Inc. インパクトレポート | エグゼクティブサマリー

障壁を破る



社長兼 CEO からの文書

1964年、ナイキの歴史は1人のランナーと彼のコーチの握手から始まりました。会社の成長とともに、世界のなかで果たせるナイキの役割や、ナイキが世界に与えようとするインパクトも大きくなりました。今、明るい未来を作るために役に立ってきた私たちの長い歴史に誇りを感じています。

私たちの強い価値観が、この 1 年を通して私たちを導いてくれました。この文書を書きながら、世界的なパンデミック、気候危機、人種的不平等の報いなどが続いています。これは、私たちの社会にとって決定的な瞬間であり、ナイキにとっても決定的な瞬間でした。

ナイキは、希望や刺激を提供するブランドです。私たちは、スポーツが人間の良さを、そして人々が世界の素晴らしさを引き出す力を持つと考えています。つまり私たちが行うことの全ては、スポーツそして世界の中で人間の可能性を新しく見つめ直すという大きな目的に基づいています。

2020年度はナイキのチームにとって、チーム全員と私たちが掲げるパーパス（存在意義・目的）の重要さを確認させられた1年でした。私たちが生み出す意見や行動が社会に対して変化をもたらすこともありました。社会の中で対策が急がれる課題を前にして、ナイキは人々を導くことができる機会を有することを認識しています。

ナイキのインパクトレポート2020には、私たちが本当の意味での岐路に立っていることが示されています。

まず、過去 1 年でナイキの規模感と影響力を活用し、サステナビリティに掲げる目標を高めています。サプライヤー気象行動プログラムを立ち上げ、素材とプロダクトの生産工場での二酸化炭素排出量削減を推進しました。結果、サプライチェーン全体で実質的な進歩が見られています。

- 米国とカナダの自社所有及び運営する施設では、100%再生可能エネルギーを使用しています。
- 素材の染色及び仕上げのサプライヤーでは、淡水の利用を30%削減し、FY20のターゲットを大きく超えて達成しています。
- シューズの1次サプライヤーは、生産過程の廃棄物の99.9%の埋め立てを回避しています。

また私たちは、世界中のコミュニティで持続的な変化を生み出すソリューションにも投資しています。米国のオリンピック＆パラリンピック委員会などパートナーとの協力関係を生かし、ボランティアのユースコーチ向けにCoaching Girlsというトレーニングモジュールを作成し、スポーツを楽しく、女の子にとってインクルーシブな文化の構築を支援しました。

さらに、私たちが世界中で展開している子どもたちが遊びやスポーツで体を動かすことに取り組む「Made to Play」では、社内のチームメートにも参加してもらっています。29カ国の6,700名を超える店舗従業員が、ボランティアとして2020年度には合計6万時間以上活躍し、子供たちが活動的に過ごすことを促しました。

同時に、社会の中で根深い人種差別がはびこる中、私たちはナイキの中心的価値観の1つ“equality (平等)”を強く訴えていきます。黒人アスリート、黒人カルチャーの強力な貢献がなければ、私たちのブランドは今の姿になることはあり得ませんでした。また人間の可能性を信じる私たちの思いから、平等を実現する中でも最も根強い障壁を打ち破ることに率先して取り組もうとしています。そのためナイキ、コンバース、ジョーダン ブランド及びマイケル・ジョーダン氏で合わせて1億4000万ドルの拠出を含む、人種間の平等を進めるために注力する団体へのサポートを行うなど、意味のある行動を行なっています。

加えて私たちは、全ての意見を歓迎し、聞くことができる多様かつインクルーシブなチームやカルチャーをつくることにも注力しています。このカルチャーをつくることはつまり、私たちが讃えるアスリート、私たちのプロダクトを愛用してくれる人々、私たちの属するコミュニティが多様性に富んでいることを意味します。

少数派の存在を高める面においても、女性従業員は世界の人員全体で49.5%、米国のVPリーダーシップチームの中での少数民族・人種の割合が29%に増えています。

これまでの成功を誇りに思いつつも、長期的な取り組みであることを認識しています。これからも主要な運営分野においての二酸化炭素排出量削減に取り組み、プロダクトに関わる二酸化炭素排出を抑え、チーム全体で多様化とインクルーシブを高め、子供たちの遊びやスポーツとの接点を増やして行くために努めていきます。私たちはこれからも常に改善するための努力を続けていきます。

ここまでの進歩は、設定した5年間の目標に対する成果として測られています。2020年度という目標期限に至り、これから新しい5年先への道のりを示すため、Purpose 2025 Targetsとして世界的なインパクトを生み出す目標を設定しました。これまでのターゲットに至る道のりが終わり、また新しい取り組みが始まります。Purpose 2025 Targetsは、単なる目標ではなく、ゴール、戦略と説明責任を明確にした行動指針です。また私たちは、責任あるリーダーシップとはどうあるべきかについても再定義しています。今回初めて、役員報酬を多様性と包摂性、地球保護と、倫理的な生産手段の改善に紐づけました。

今までも、そしてこれからもずっと、私たちのゴールは、ナイキに関わる人々とナイキのパーパスが連動し、良い方向に向かうことです。ナイキは常に上を目指し続けます。より良い未来の実現に向かうため、パーパスが、私たちを導き、そして私たちの価値観が背中を後押ししてくれるはずです。

John Donahoe
社長兼 CEO



進歩は可能であると私たちは信じているからこそ、パーパスが私たちを導きます。

2020 年度 NIKE, Inc. インパクトレポート – エグゼクティブサマリーへようこそ。

今年のレポートは、次の 3 つの点が特徴です。

第一に、この一年の出来事は世界中で前例のないものになりました。私たちは、社会をより良くするために必要な集団行動をこれまで以上に認識しています。

第二に、2015 年に設定した企業目標の報告サイクルが終了します。その 5 年間の行程の中で、私たちの進捗と学びを共有したいと思います。

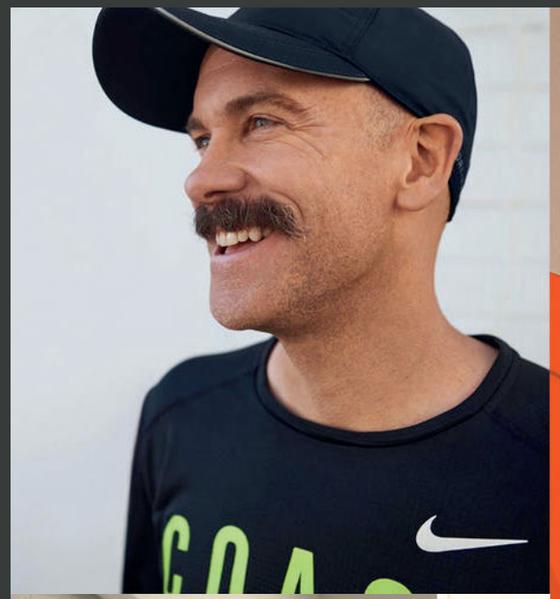
最後に、2025 年に向けて新しい企業目標を設定しました。これらは、ナイキで私たちがより良い明日を創造するために取り組もうとしている意欲的な仕事を反映しています。

重要なのは、人々、地球環境の保護、そしてコミュニティの構築に投資することです。スポーツを通じて、私たちは障壁を打ち破り、世界を前進させます。

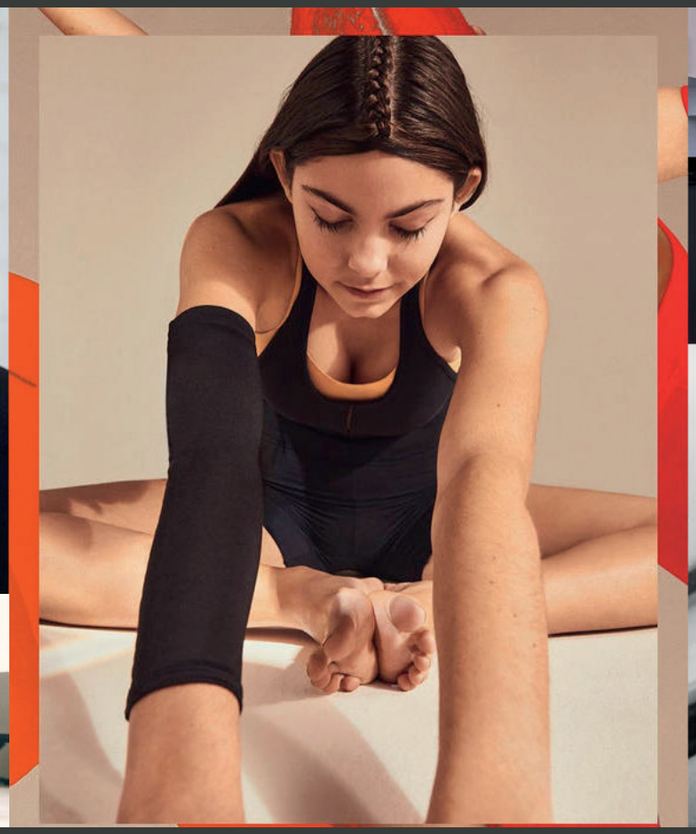


2020 年度の NIKE, Inc. インパクトレポート全体にアクセスするには、こちらをご覧ください。

促進











ナイキは、意欲的で達成可能な 2025 年の目標を設定しました。より良い明日に向けてのレースには、フィニッシュラインはありません。

ナイキの全てのチームは、目標設定プロセスに携わり、野心を実現し、作業を促進するための計画作りに協力しました。

私たちが設定した 2025 年の目標は、次の点で業界をリードしています。

- 役員報酬を 2025 年の目標設定に結び付ける
- 年間マイルストーンを活用してパフォーマンス管理を改善する
- 廃棄物、労働力、サプライヤーの多様性に焦点を当てた新しい目標により、目標の説明責任をバリューチェーンの奥深くまで拡張する
- 科学的根拠に基づく目標と持続可能な開発目標の整合性を図る

purpose[25]

目標期間の終わりが近づくころに、振り返りを行います。私たちは、成功を積み重ね、つまずきから学ぶことに尽力しています。

2020 パフォーマンス





2020 ハイライト

私たちは、過去 5 年間で大幅な進歩を遂げました。

製品のラストワンマイル配送に電気自動車を利用することから、米国の 7 つの都市とロンドンでのブラックコミュニティコミットメント助成金、世界中の青少年指導プログラムまで、2020 年に様々な進歩を遂げました。

しかし、行程は常に直線的であるとは限らず、さらに探求する必要のある領域があります。状況が変化したとき、または課題が予想よりも大きかったとき、私たちはその理由と、目標を達成するために方向転換する方法を把握するよう努めてきました。

経営陣

現在、女性は全従業員ベースの **49.5%** を占めています。

米国のVP（ヴァイス・プレジデント）レベルに就任する人種および民族のマイノリティは、2020 年には 8 p.p. 増加して **29%** になりました。

雇用

2020 年のインターンクラスはこれまでで最も多様な人々で構成されていました。310 人のインターンの **55%** が女性で、**49%** が米国における人種および民族のマイノリティでした。

労務

ナイキと国際金融公社（IFC）間の貿易金融プログラムを通じて、**7 億 1,700 万ドル** 以上が 46 の工場に支払われました。

コミュニティへの投資

ナイキはコミュニティへのインパクトに **8,980 万ドル**を投資しました。

従業員エンゲージメント x Made to Play

Made to Play の一環として、またナイキコミュニティアンバサダープログラムを通じて、**29** か国・**560 以上**の店舗で **6700 人を超える**リテールアスリートをトレーニングし、子どもたちが遊びやスポーツを楽しめるように支援しています。

ブラック コミュニティ コミットメント

コンバース、ジョーダンブランド、マイケル・ジョーダン氏は、黒人の人種的不平等に対処するための経済的エンパワーメント、教育、社会正義に焦点を当てた組織を支援するために、10 年間で合計 **1 億 4,000万ドル**を献金しました。





水

ナイキは、材料 1 キログラム当たりの繊維の染色および仕上げサプライヤーの淡水使用率を **30% 削減** することで、2020 年度の目標を上回りました。これは、2016 年度以降サプライヤーによる累計 **400 億**リットルの淡水の節約に相当します。

二酸化炭素排出量

現在、米国とカナダの、所有または運営している施設に **100%** 再生可能エネルギーを使用しています。世界的に、ナイキは 2020 年度で **48%** の再生可能エネルギーを動力源としていました。

2015 年度以降、当社のフットウェアサプライヤーは、生産される一足のフットウェアに対するエネルギー消費量を約 **10%** 削減することに成功しました。

廃棄物

1次完成品フットウェアサプライヤーの生産過程の廃棄物の99%は、埋め立られることなく転用されました。

2015 年度以降、**4,700 万** kg を超える廃棄物が新しいフットウェアにリサイクルされました。

purpose 25

2020

2020 年の目標の概要

目標達成　大幅な進歩　目標未達成

キー	△ 増加	▽ 減少
改善	▲	▼
悪化	▲	▼

測定基準	測定単位	2015 年度（基準）	2020 年度	2020 年度基準年比変化率	最終ステータス
コミュニティへのインパクト					
税引前利益の最低 1.5% を投資して、コミュニティにプラスの影響を与える	%	1.9%	**1.9%**	**該当なし**	✓
製造					
持続可能性（ブロンズ以上の評価）の定義を満たす工場から 100% 調達する	%	86%	**94%**	**▲ 45 p.p.**（2011 年度基準に対して）	◔
過度の残業を無くす（EOT）	%	3.3%	**0.8%**	**▼ 2.5 P.P.**	◔
製品					
80% の製品が持続可能性の観点で評価される	%	27%	**60%**	**▲ 33 P.P.**	◔
ユニットあたりの製品の平均二酸化炭素排出量を 10% 削減	（kg CO_2e/unit）	7.33 kg	**7.33 KG**	**0%**	✗
素材					
アパレルでより持続可能な素材の使用を増やす	%	19%	**59%**	**▲ 40 P.P.**	✓
フットウェアでより持続可能な素材の使用を増やす	%	31%	**29%**	**▼ 2 P.P.**	
100%のコットンをより持続可能な方法で調達する	%	24%	**100%**	**▲ 76 P.P.**	✓
炭素とエネルギー					
所有または運営している施設における 100% 再生可能エネルギーの使用（2025 年度まで）	%	14%	**48%**	**▲ 34 P.P.**	✓
主要な事業におけるエネルギー使用量を 25% 削減	（kWhe/unit）	5.79	**5.62**	**▼ 3%**	✗
主要な事業におけるユニットあたりの炭素排出量を 25% 削減	（kg CO_2e/unit）	2.02	**1.91**	**▼ 5%**	✗
素材の染色と仕上げにおけるエネルギー使用量を 35% 削減	（kWhe/kg）	15.86	**13.30**	**▼ 16%**	◔
素材の染色と仕上げにおける炭素排出量を 35% 削減	（kg CO_2e/kg）	4.78	**4.05**	**▼ 15%**	◔
廃棄物					
埋め立てや焼却するフットウェア製造廃棄物を無くす	%	–	**0.1%**	**▼ 6.5 p.p.**	✓
フットウェア製造、流通センターおよび本社全体で廃棄物指数を 10% 削減	–	100	**97**	**▼ 3%**	✗
流通センターと本社で埋め立てられることを回避	%	88%	**88%**	**0 p.p.**	✗
水					
素材の染色と仕上げにおける淡水を 20% 削減	L/kg	–	**88.2%**	**▼ 30%**	✓
化学物質					
ナイキ制限物質リスト（RSL）に 100% 準拠	%	95%	**98%**	**該当なし**	✓
有害化学物質のゼロ排出（ZDHC）製造制限物質リスト（MRSL）に 100% 準拠	%	–	**85%**	**▲ 18 p.p.**	◔
焦点を当てたサプライヤーの 100% が、素材の染色および仕上げ工程におけるナイキの廃水品質要求を満たす	%	–	**69%**	**▲ 29 p.p.**	✗

2020 年の目標については、2020 年度 Nike, Inc. インパクトレポートをご覧ください。

私たちの視点

2025 年に向けたビジョン

今後 5 年間で、人、地球、
遊びに焦点を当て、
パーパスを実現していきます。



私たちは、野心のために、29 の目標を策定しました。私たちの目標は意欲的ですが、達成可能です。明確な目標、対策、そして説明責任を備えた明確な行動計画に取り組んでいます。何よりも、私たちは会社全体および世界中で、より良い未来を形作る手助けをすることを約束します。

人々を力づけることがナイキのパワーに。

2025 年の目標ハイライト

50%

会社全体の労働力における女性の割合

100%

サプライチェーンに携わる女性の就業機会へのアクセス

50%

Made to Play コミュニティプログラムへの女の子の参加



イノベーションは包括性の結果です。

2025 年の目標ハイライト

35%

米国の本社勤務の従業員における人種および民族のマイノリティの割合

1 億 2,500 万ドル

職場における条件を公平化し、人種的不平等に対処する組織を支援するための投資

1,000 万ドル

インターンおよび直接雇用を増やすための歴史的に黒人の多い大学やヒスパニック系の教育機関への投資



地球は私たちのグラウンドです。

2025 年の目標ハイライト

70%

所有または運営する施設での温室効果ガス排出量の確実な削減

10x

製品の廃棄物のうち、再生、リサイクル、寄付される量



スポーツを通じて、私たちはより強いコミュニティを構築します。



2025 年の目標ハイライト

2%

コミュニティにプラスのインパクトを与えるための前年度の税引前利益の投資

2020 年度では、ナイキはコミュニティにプラスのインパクトを与えるために、**8,980 万ドル**を投資しました

purpose 25

2025

2025 年目標の概要

2025 年目標の詳細については、2020 年度 Nike インパクトレポートを参照してください

ピープル

経営陣と雇用	会社全体の労働力の **50%** を占める女性の割合と、指導的地位の **45%** を占める女性の割合 ディレクターレベル以上の役職の **30%** に、米国の人種および民族のマイノリティが就業しディレクターレベル以上での黒人とラテン系の人材のパイプラインを強化する 米国本社の従業員において、人種的・民族的マイノリティが **35%** を占める割合 インターンや直接雇用を増やすための奨学金および学術的パートナーシップの形で、歴史的に黒人が多い大学（HBCU）およびヒスパニック系の教育機関（HSI）に **1,000 万ドル** の投資割り当て 第一線で活躍する従業員が企業での役割を担うための募集職種とマーケティングの強化 戦略的サプライヤーの **100%** が、施設で雇用されている女性のキャリアの機会と、社会的地位向上の機会を増やす
給与および給付金	毎年、すべての従業員レベルで **100%** の平等賃金を維持する すべての従業員に競争力のある公平な給付金を提供する
健康と安全	戦略的サプライヤーの **100%** が、当社の製品を製造する人々のために、世界クラスの安全で健康的なワークスペースを構築
包括的な文化とエンゲージメント	エンゲージメントと包括性の両方でベンチマーク企業の**上位 4 分の 1** 当社のブランド、体験、製品、施設と会社のために、あらゆる能力のアスリート*の活用を引き続き重視する 戦略的サプライヤーの **100%** が、当社の製品を製造する人々のエンゲージメントを測定および改善
教育と専門能力開発	VP（ヴァイス・プレジデント）の **100%** が包括的リーダーシップ教育を完了し、その資格を取得 米国の人種および民族のマイノリティと世界中の女性のための専門能力開発に焦点を当てた **2 倍の投資**
ビジネスの包括性と多様性	多様なサプライヤーへの累積支出 **10 億ドル**

コミュニティ

子どもとスポーツ	当社の主要都市における子どもたち（そしてそのうち **50%** が女の子の参加）が活発に動くことを促すことにより、持続的なインパクトをもたらす。
包括的コミュニティ	**1 億 2,500 万ドル** を投資して、職場における条件を公平化し、人種的平等のために活動している組織を支援する
従業員エンゲージメント	コミュニティに従事する従業員の数を最低 **35%** に増やす
コミュニティへの投資	コミュニティにプラスのインパクトを与えるために、前年の税引前利益の **2%** を投資する

地球

二酸化炭素排出量	100% 再生可能な電力とフリート電化により、所有または運営する施設での温室効果ガス（GHG）排出量を **70%** 確実に削減 主要サプライヤーの製造および輸送業務からの GHG 排出量は、再生可能エネルギー、エネルギー効率、代替燃料の使用により、**ビジネスの成長を見込んでも、2020 年レベルまたはそれ以下**とします。 環境に配慮した素材の使用をすべての主要素材の **50%** に増やすことで、**50 万** トンの GHG 排出量を削減
廃棄物	デザインと運用効率の向上により、製造、流通、本社、およびパッケージングにおけるユニットあたりの廃棄物を **10%** 削減 当社の拡張サプライチェーンによる廃棄物 **100%** が埋め立てられず、埋め立て地から分離され、少なくとも **80%** が ナイキ製品やその他の商品にリサイクルされます。 **10 倍の量の** 再生、リサイクルまたは寄付された廃棄物からなる製品
水	素材の染色と仕上げにおける 1kg あたりの淡水の使用量を **25%** 削減 綿花サプライチェーンの中で、水ストレスのある生態系とコミュニティの長期的な回復力をサポートする流域プロジェクトのポートフォリオを通じて **130 億** リットルを回復
化学物質	サプライチェーン全体で **10** 個の優先化学物質にクリーンな化学物質の代替案を採用する

基本的な期待値	拡張されたサプライチェーンの施設の **100%** が、ナイキの基本的な労働、健康、安全、および環境の基準を満たし、労働者と彼らが活動するコミュニティの権利を尊重していることを示しています



2020 年度 Nike, Inc. インパクトレポート
purpose.nike.com
www.nike.com